

平成23年度第2回「市長とランチでトーク」

- 開催日 平成23年8月22日（月曜日） 12:00～13:00
- 内容 市役所3階第2応接室にて市長と懇談
- 出席者 宇都宮短期大学附属高等学校生活教養科3年「宮染めプロジェクト」 5名
〈市側〉 市長

● 主な内容（抜粋）

《宮染めについて》

市長： 宮染めを行おうとしたきっかけは何ですか。

高校生： 高校2年生のとき染色の授業があって興味を持ちました。

市長： 皆さんがデザインして作った宮染めはどこで買えるのですか。

高校生： 県庁のイベントに参加させてもらった後、販売をさせていただき、たくさんの方に買っていただきました。ほかには博物館の施設を借りて販売しています。

市長： ファッションショーなどの作品の発表の場は設けているのですか。

高校生： ファッションショーは毎年文化祭でやります。文化祭でPTAの方が見に来てくれるので、宮染めが少しでも広がるように発表しています。

市長： 一生懸命良い点を絞り出して、実際に作品を製作して、そのあと宮染めをどうPRしていくかということを考えると難しいですね。その辺の作戦はあるのですか。

高校生： いろんなイベントなどに参加してみるのだと思います。

《デザインした浴衣や小物について》

高校生： このデザインをどう思いますか。

市長： こういう色使いは全然思いつかないですね。浴衣も着物もいいけど手ぬぐいはすごいですね。何にでも使える。

《「もったいない運動」や節電について》

高校生： 市役所では、「もったいない運動」や節電にどのように取り組んでいるのですか。

市長： まず、「もったいない運動」が始まった経緯を申し上げますと、国際青年会議所と言う世界的な組織がありまして、毎年各国の青年会議所が世界に広める事業を提案することになっています。日本青年会議所も提案する内容を検討していたのですが、その頃の日本は経済大国で、日本人は使い捨てをしながら経済が発展してきたと見られていたので、日本からは日本の伝統をふまつつ世界に貢献できるようなもの、ということで「もったいない運動」が選ばれたのです。

それで環境の問題として、市役所も宇都宮市全体も日本も、ごみの削減やリサ

イクルについて、積極的に取り組み始めたのが6年前です。

例えば環境部は、ごみを減らそうということでリンゴダイエット作戦をしています。一軒、一家庭ずつ1日リンゴ1個 260グラム分のごみを出さないように減らしていけば、宇都宮市のごみ処理施設がいつまでも使えるようになります。このままごみが増えていくと、当然燃やす量は増えますので、ごみ処理施設では大量に火を使うことで施設自体が弱くなり、建て替えが必要になります。施設を長く使うためにもごみを減らしていくことが大切です。

節電については電気もこまめに消します。また、エアコンとかは冷暖房設定温度を、夏は高め、冬は低めに設定しました。それで夏はクールビズにして冷房温度を28度でノーネクタイ、冬はウォームビズで暖かい格好をして暖房設定温度は19度、ただし1階2階はお客様が沢山お見えになるので、そこはちょっと例外にしています。今回原発の影響で皆が節電しましょうと言っているけれども、市はもうその前からやっています。また、クールビズの一環で行っているのが、職員から提案されたこの宮染めシャツです。

《宮染めのシャツについて》

高校生： 市長が来ている宮染めのシャツはどこで売っていますか。

市長： どこで売っているかといろいろな方々から問合せをいただいています。今は試験的に職員が着るものとしていて、外部では売っていません。



「宮染めプロジェクト」のみなさん